



HD 8726

10/373

Asian
Japan
Cage

HD 8726

.Y66

1944

Copy 1

MOJ 75-A 373

HD 8726

10/373

Asian
Japan
Cage

HD 8726
.Y66
1944
Copy 1

MOJ 75-A 373

Yoshida, Masuzō

昭和十九年十一月五日

日傭勞務者、自由勞務者統制に關する私案

大日本一新會總裁

吉

田

益

三

HD8726

73

Y66

1944

Copy 1

Asian

Japan

Cage

E

E

99-429604

名稱

內容 全國の日傭勞務者、自由勞務者

目的 報恩感謝、職域奉公の精神を涵養せしめ、時局に對する

認識、職業に對する自覺と自尊心を持たしめ、自戒自肅、各其の天分を發揮せしめて聖戰完遂への御奉公を爲さしめ、また其の抱懷する建設的意見を吐露させ、これを上通せしめる。

方法

政府より強制的に絶對入會を命ずる、但し入會後の條件は簡易にし前記目的を達成するやう細目的に指導する。

(イ) 毎日一回其の職場において宮城遙拜を行ひ眞摯なる敬謝の念を捧げしめる。

(ロ) 全部に腕章若しくは徽章を佩用させ時局擔當の自覺を持たしめ、その職域を通して各自責任感の下、草莽の運動を實踐せしめる。

(イ) 各地區を通じて簡單な回覽板式の方法により指導理念を訓ふ。

(ロ) 町會、警防團等他團體組織の役會員に對してはそれを妨げざる程度の任務を賦與する。例へば暇ある場合に町會等の事業に奉仕せしめる。

會員 大工、左官、手傳、仲仕、運搬夫、配達夫、俵夫、赤帽、運轉手、掃除夫、其他の自由勞務者

役員 政府より一、二名

民間より數名

地方に責任者數名

理由 決戰段階に突入せる現下の時局において最も重要なこと

は敵愾心の昂揚である。この點甚だ遺憾であるが十二分といへない。國民士氣が昂らず、敵愾心が旺盛でない原因は種々あるが、戦況が思はしからざることも勿論一因

であるし、折角國民が緊張しきつてゐる最中に思ひもよ
らぬ内閣が更迭したことも士氣沮喪を誘發せしめてゐる。
食糧事情の窮屈化に伴ひ今日の生活を如何にして果して
行くかに追はれ、戦局に無關心たる現實面も一因となつ
てゐる。統制の行過ぎ、官吏獨善の弊もこの風を助長せ
しめてゐる。然し根本的に煎じ詰めれば國民精神の弛緩、
國民自体の二重道德に胚胎する。特にこの弊風は日常生
活面にありて露骨に現れてゐる。自己單りの満足感を充
足せしめるためには、それが如何に國に影響するか、戦
力に響くかを考へぬ功利主義的な生活様式が隨所に現れ
てゐるのである。殊にこの現象が日傭労働者、自由勞務
者に顯著であることは、彼らの無智を曝露すると共に指
導力の貧困さを證明するものである。比較的統制枠の充
實してゐる産報系統に較べて、この分野はあまりにも枠

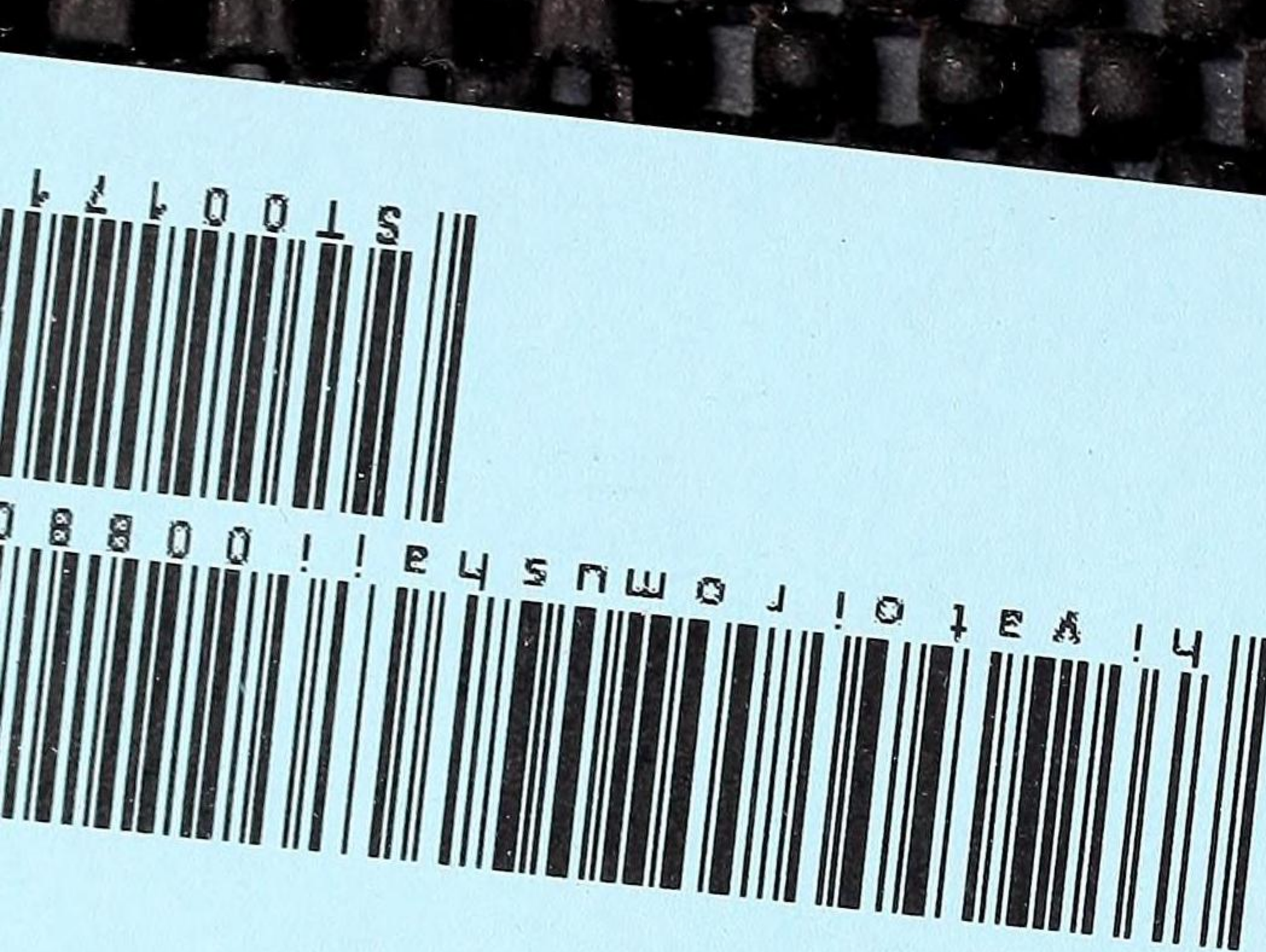
外に置かれ自由放任され統制されてゐない。その結果は如何、骨惜しみと物慾が彼らを擒とし、勞務の闇を醸成し賃銀の停止するを知らざる昂騰となり、物質的には浪費を助長し、精神的にはユダヤ思想の瀰漫を見るのである。從來月收二、三百圓にも達しなかつた彼ら現在の實收が千圓以上といふところに社會的にも、政治的にも、經濟的にも深い考慮を要するものがある。即ち一時的好景況（實は闇であるが）に乗じ夥しい金を儲けた彼らは一夜の快樂を闇生活に求める、生活物資の購入もあらう、享樂を追ふ浪費もあらう、酒一升の爲めに百金を投じて一夕の泥酔を購ひて悔としない彼らの行爲は政府の價格政策を紊り、悪性インフレを助長し、物資の偏在、横流れを助け、勞務の闇を推進せしめるのみで、現下の國策に反する。社會では富有階級の買漁りが物價を昂騰せし

め、悪性インフレーションに拍車を加へると強調するものがあるけれど、部分的にはあつても全体を左右するほどのことはない。寧ろ自由勞務者の浪費に比すれば問題は小である。

彼らをして斯る行爲を敢へてせしめるものは結局自覺の
缺除からである。従つて自尊心を持たせることによつて
のみ弊を矯めることが可能である。自分らこそ時局擔當
の重大な役割に在るものとの認識を深めさせ、これでよ
いかといふ反省を促す（會か組合か）ことに依つて金儲
け一點張り、享樂第一主義の彼らに筋金を入れ人格を向
上せしめ得ると確信する。反撥心の誘發を極力回避し賃
銀の闇、浪費の弊を直接衝かず、説くに臣道を以てする
ならばこの解決は敢へて容易とはいへぬが難事ではない。
この問題が成功すれば直面せる生活、物資、物價、經濟、



生産の隘路は大部分打開出来るのである。
勞務、賃銀の點も愛國的精神の涵養によつてのみ圓滑且
つ完全に統制し得られ、理想を達成し得るを考へるな
らば、今日枠外にあるこれら勞務者への對策は須臾も忽せ
に出來ぬ緊要事である



Hiyatoi rōmusha, jiyū rōmusha tōsei ni kansuru shian
 880-01 Yoshida, Masuzō, 1895-1967;880-04 Dai Nihon Isshinkai
 Library of Congress, Asian Division
 11928278
 [5] Hiyatoiromushaji008800
 00295944560
 Jun 13, 2014



APRIL2013